



2017年第2四半期決算

2017年10月23日
鉾研工業株式会社

決算の概要(第2四半期累計)

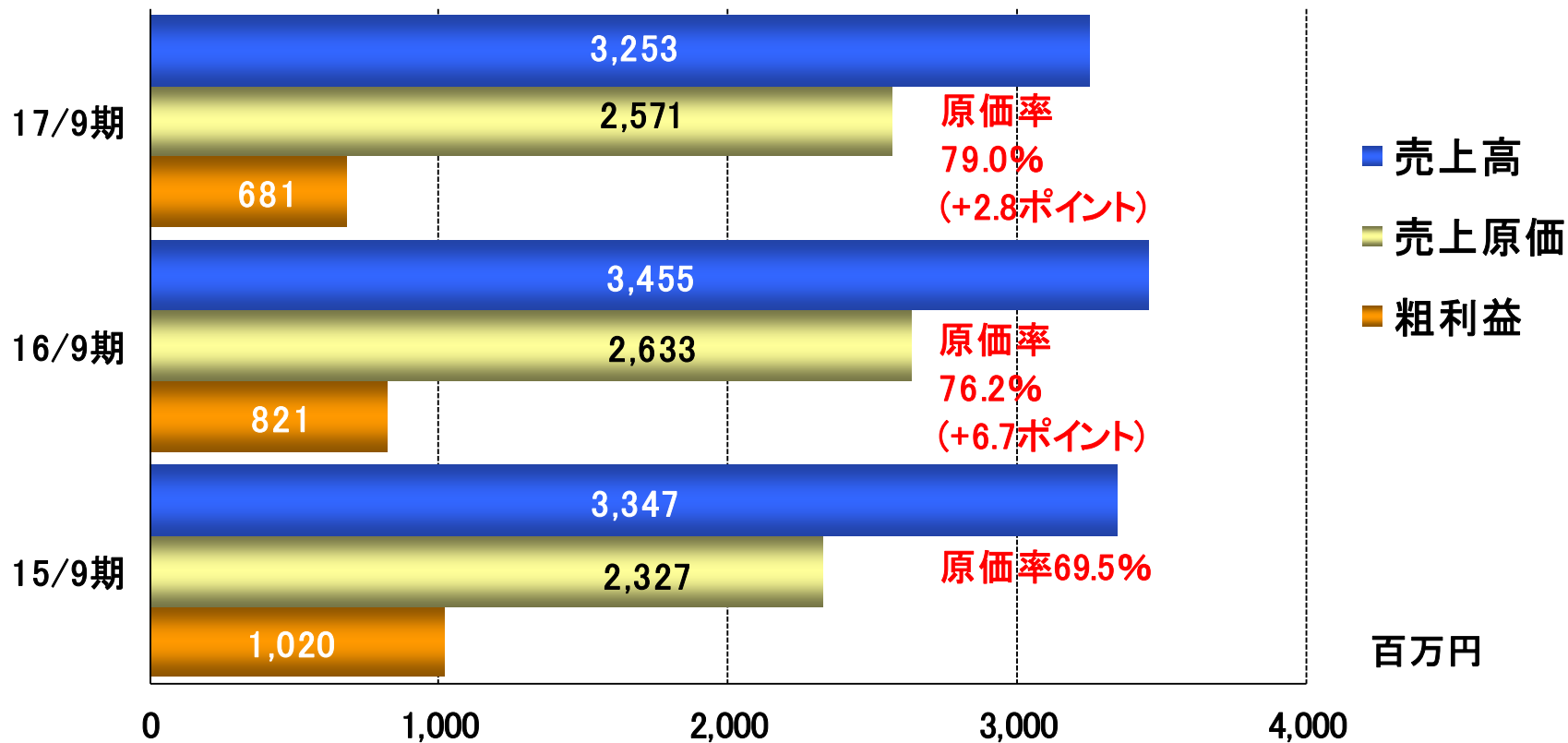
1

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	16/2Q	17/2Q	増 減	16/2Q	17/2Q	増 減
受注高	3,799	4,087	287	3,468	3,716	247
売上高	3,455	3,253	△201	3,060	2,935	△124
営業利益	60	△84	△145	54	△102	△157
経常利益	78	△85	△163	71	△106	△178
四半期純利益	69	△111	△180	65	△123	△189
	17/3末	17/9末	増 減	17/3末	17/9末	増 減
総資産	7,475	7,944	469	7,214	7,410	196
有利子負債	1,066	1,137	71	1,066	1,137	71
自己資本	3,564	3,367	△197	3,500	3,286	△213
(自己資本比率)	(47.7%)	(42.4%)	(△5.3 _p)	(48.5%)	(44.3%)	(△4.2 _p)
(D/EレシオNET)	(0.10倍)	(0.02倍)	(△0.08)	(0.13倍)	(0.08倍)	(△0.04)

2017年2Q決算(連結)のポイント

2



- 売上高は:前年同期比△201百万円、原価率:同+2.8ポイント
ボーリング機器関連での売上高の減少と海外大型案件等の原価高発生により粗利益は139百万円減少となる
- ボーリング機器関連で売上減△413百万円
- 工事施工関連は売上増+212百万円

要約連結損益計算書

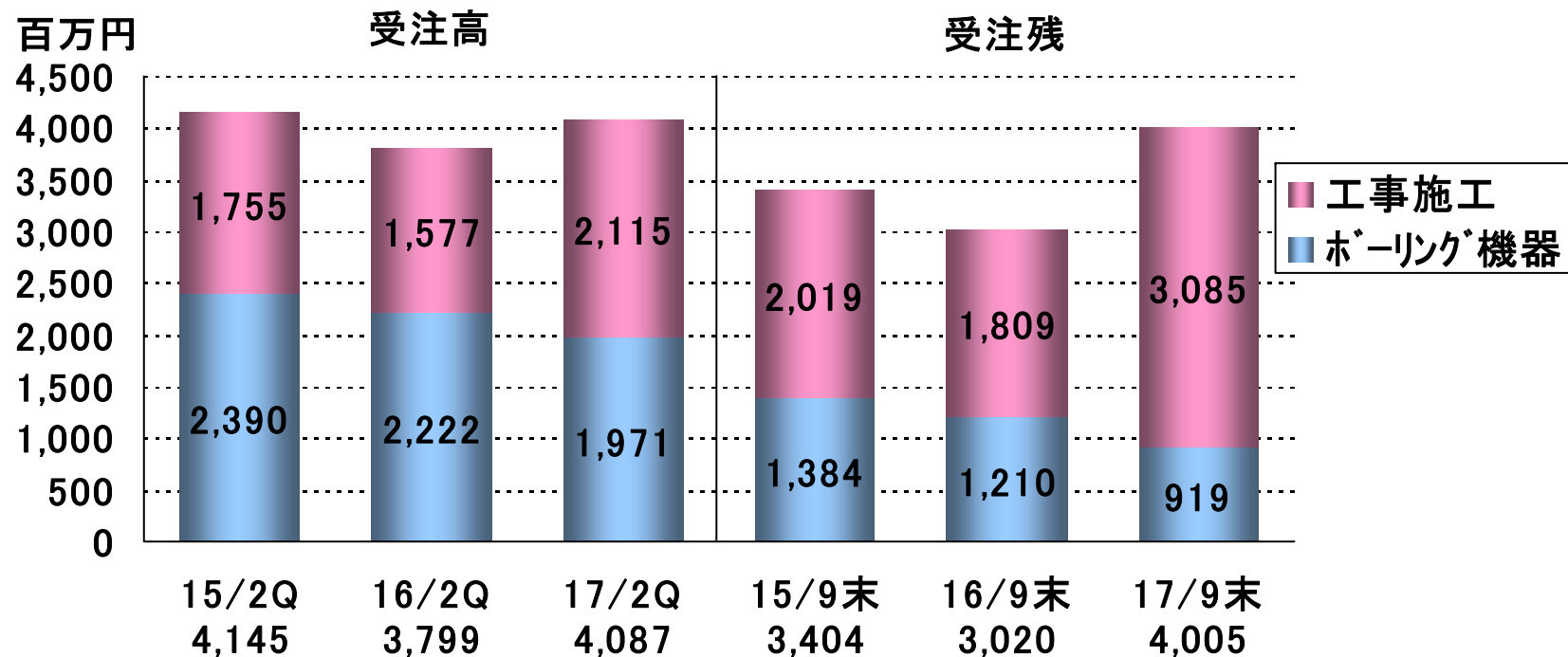
3

(単位:百万円)

	16/2Q	17/2Q	前期比増減	
売上高	3,455	3,253	△201	△5.8%
売上原価 (原価率)	2,633 (76.2%)	2,571 (79.0%)	△62 (2.8p)	△2.4%
売上総利益	821	681	△139	△17.0%
販売費管理費	760	766	5	0.8%
営業利益	60	△84	△145	△238.8%
営業外損益	18	△0	△18	
経常利益	78	△85	△163	△208.1%
特別損益	2	△0	△2	
法人税等	11	24	13	115.2%
四半期純利益	69	△111	△180	△260.2%

受注状況…受注高は前年同期比7.6%増

- 受注高は4,087百万円、前年同期比287百万円増
～ボーリング機器は、国内では機械本体を中心に受注確保、海外でもODA水井戸案件を受注するも予定していた他の海外大型案件が年度後半にずれ込む
～工事施工は、トンネル先進調査工事、アンカー工事の受注が伸び、更にコントロール・ボーリング工事の受注を確保したため前年同期を上回る
- 17/9末受注残は4,005百万円、前年同期比+985百万円増



売上高…前年同期比△201百万円(△5.8%)減

- ホーリング機器1,826百万円、前年同期比△413百万円減

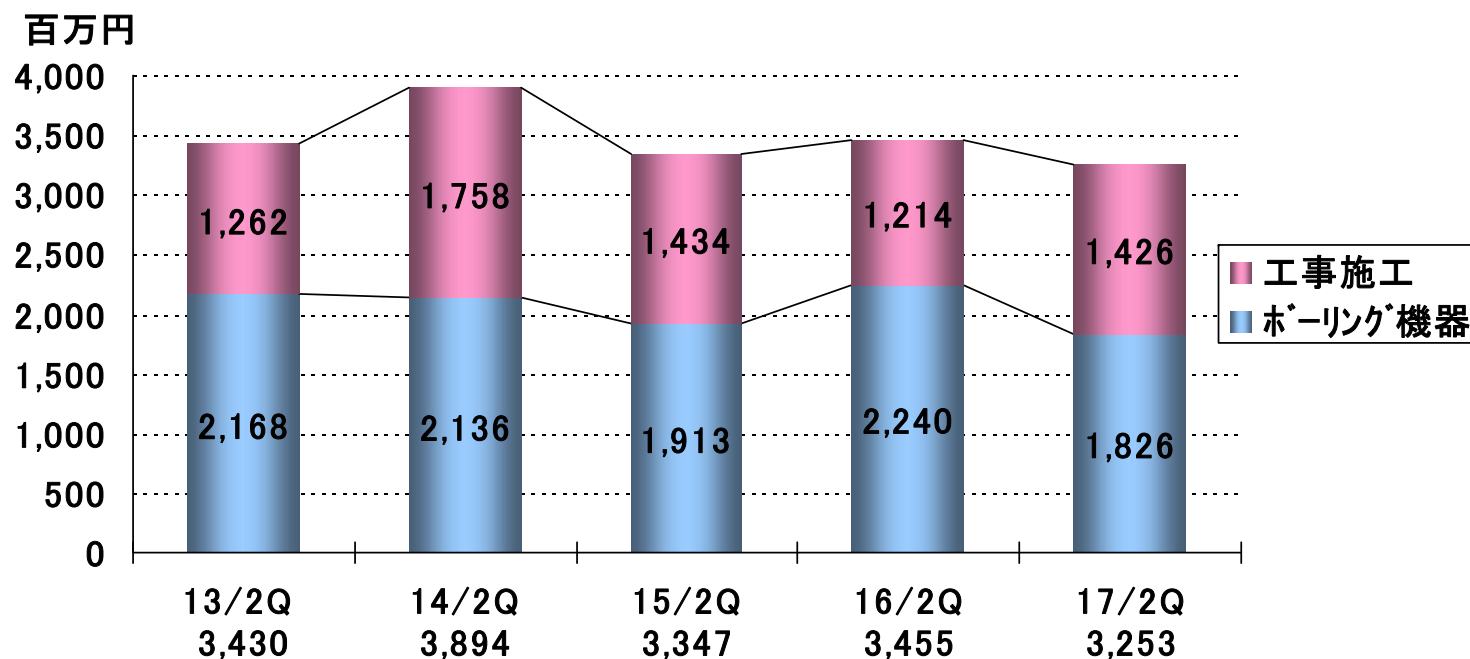
国内販売は特注機や関連機械のバッチャープラントなどの機械本体の出荷は進んだものの主力のRPD機が伸びず前年同期比△20.6%減

海外販売は主に中国、ODA水井戸案件で前年同期比△1.5%の微減

- 工事施工1,426百万円、前年同期比212百万円増

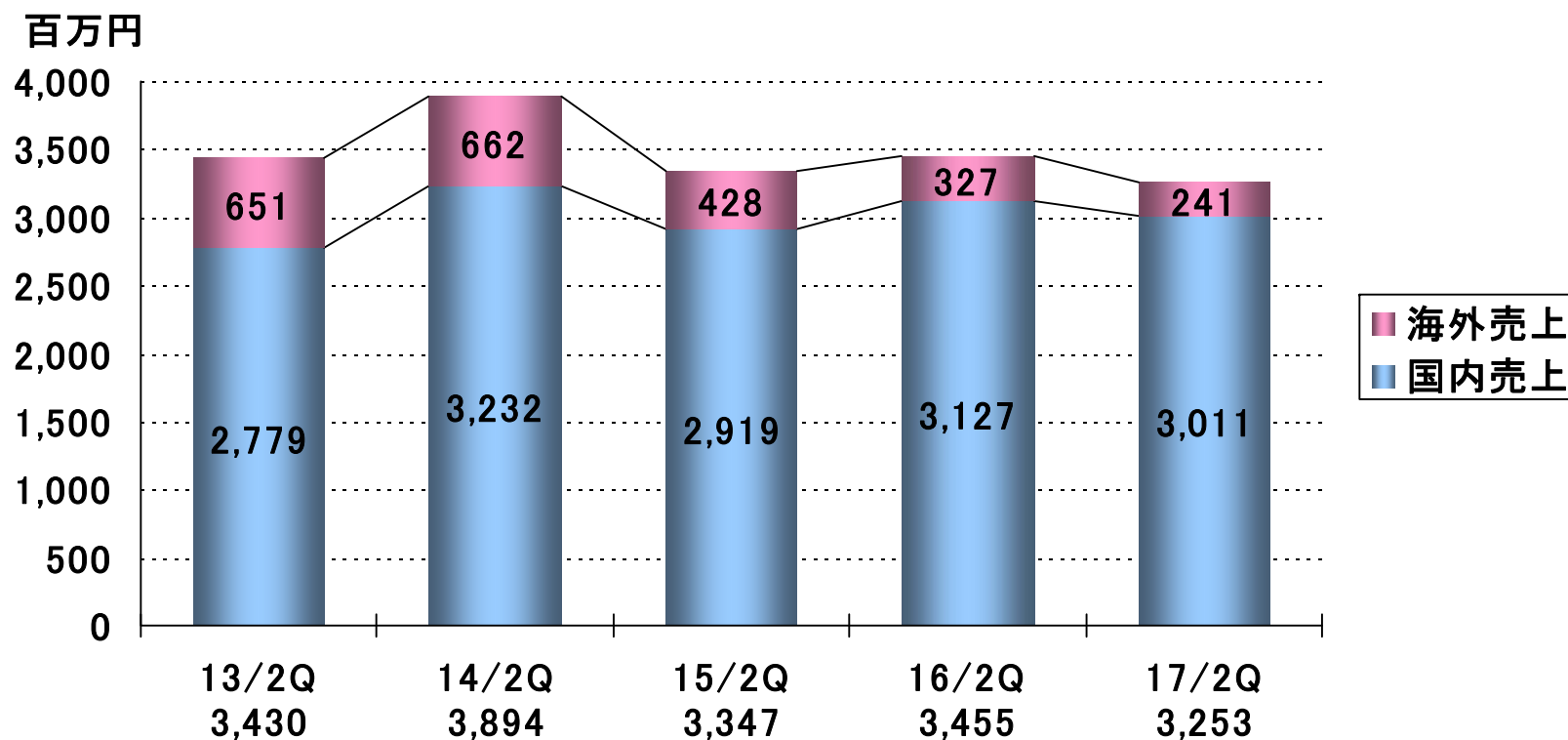
国内工事はトンネル先進調査工事、温泉掘削工事、アンカー工事を中心に完工したため、前年同期比26.0%増

海外工事はODA水井戸工事が施工中で売上なし(前年同期は82百万円)



海外売上高…前年同期比26.3%減

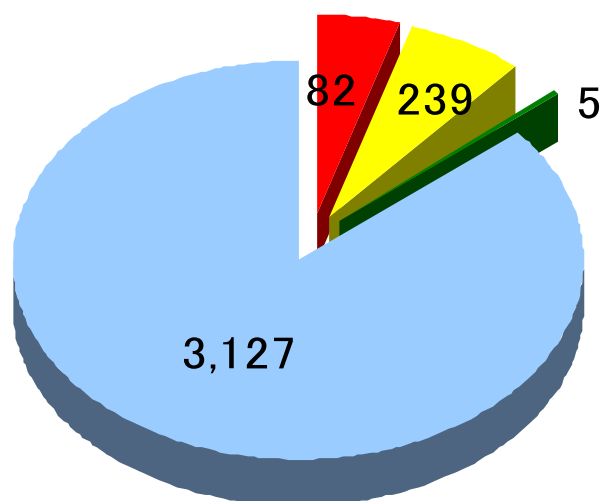
- 海外売上は241百万円、前年同期比86百万円減
～海外売上高比率7.4%
- ホーリング機器の海外売上は△3百万円：工事施工の海外売上は△82百万円
～ホーリング機器：マリ、中国、スリランカ、シンガポール、ミャンマーへの機械本体・部商品
～ 工事施工：該当なし



地域別売上高

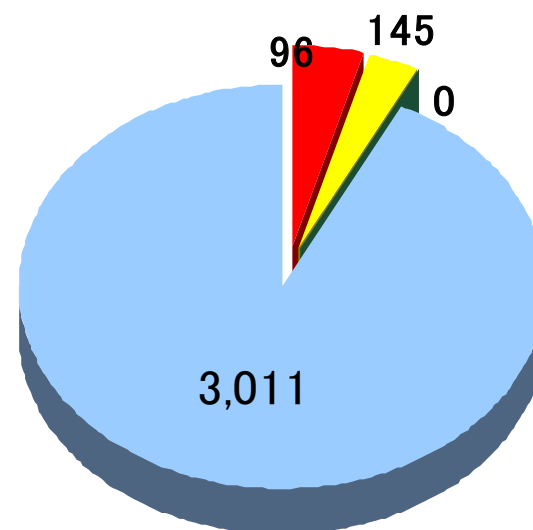
16/2Q

- <アフリカ> ブルキナファソ(ODA工事)
ザンビア(ODA工事)
マラウイ(ODA工事)
- <アジア> 中国、韓国(販売)
シンガポール、マレーシア(販売)
- <その他> アメリカ(販売)



17/2Q

- <アフリカ> マリ(ODA販売)
- <アジア> 中国、スリランカ(販売)
シンガポール(販売)
ミャンマー(ODA販売)
- <その他> ロシア(販売)

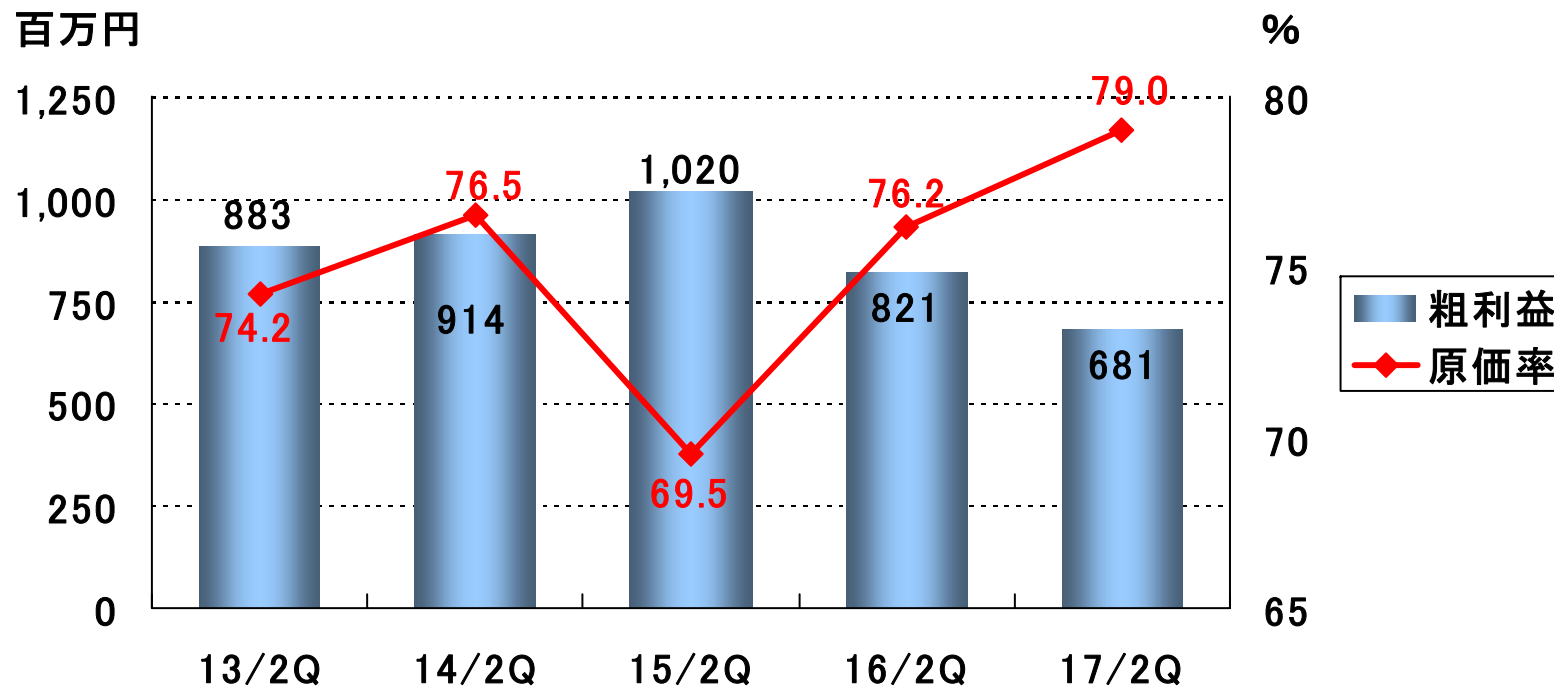


(単位:百万円)



粗利益の推移・・・前年同期比△17.1%減

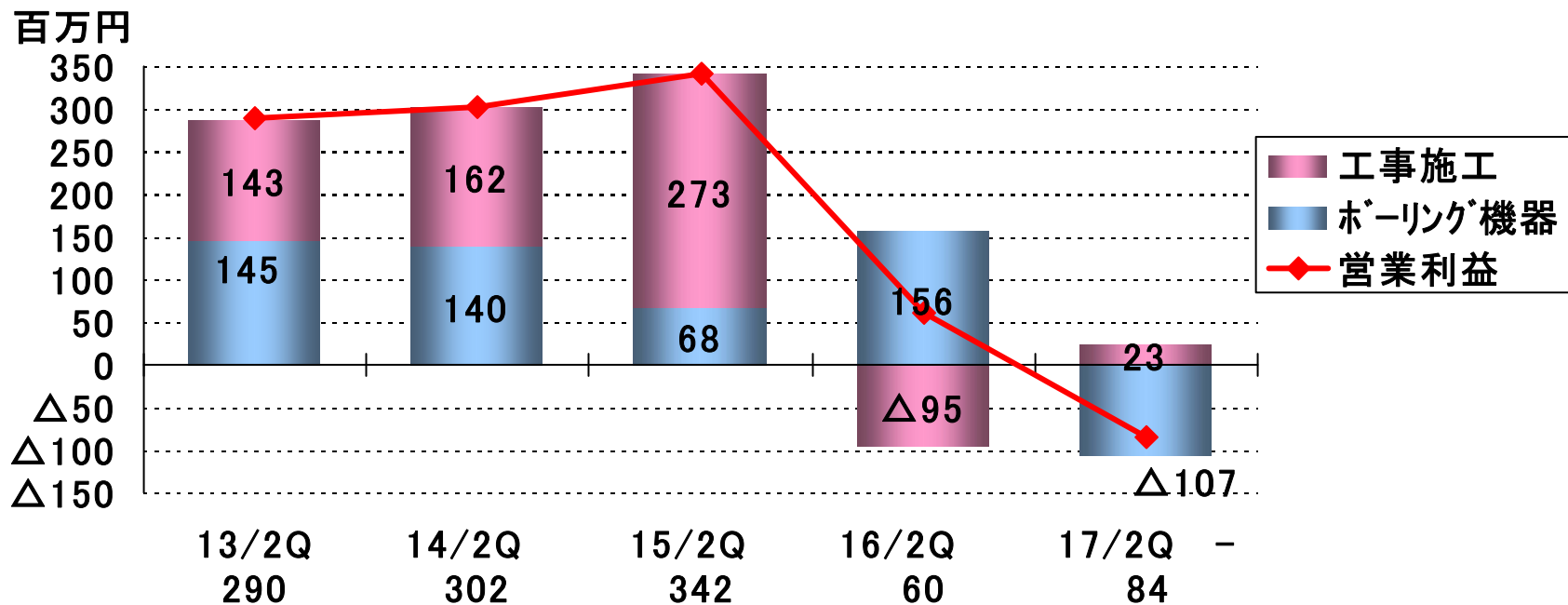
- 粗利益は681百万円、前年同期比△139百万円減(原価率+2.8pアップ)
～ホーリング機器関連では主力製品のRPD機の出荷売上高が減少し、更に海外大型販売案件の原価高の発生により前年同期より粗利益が減少
～工事施工関連では収益性の高い工事は少なかったが、完工高増加により前年同期より粗利益は増加



営業損失(セグメント損失)

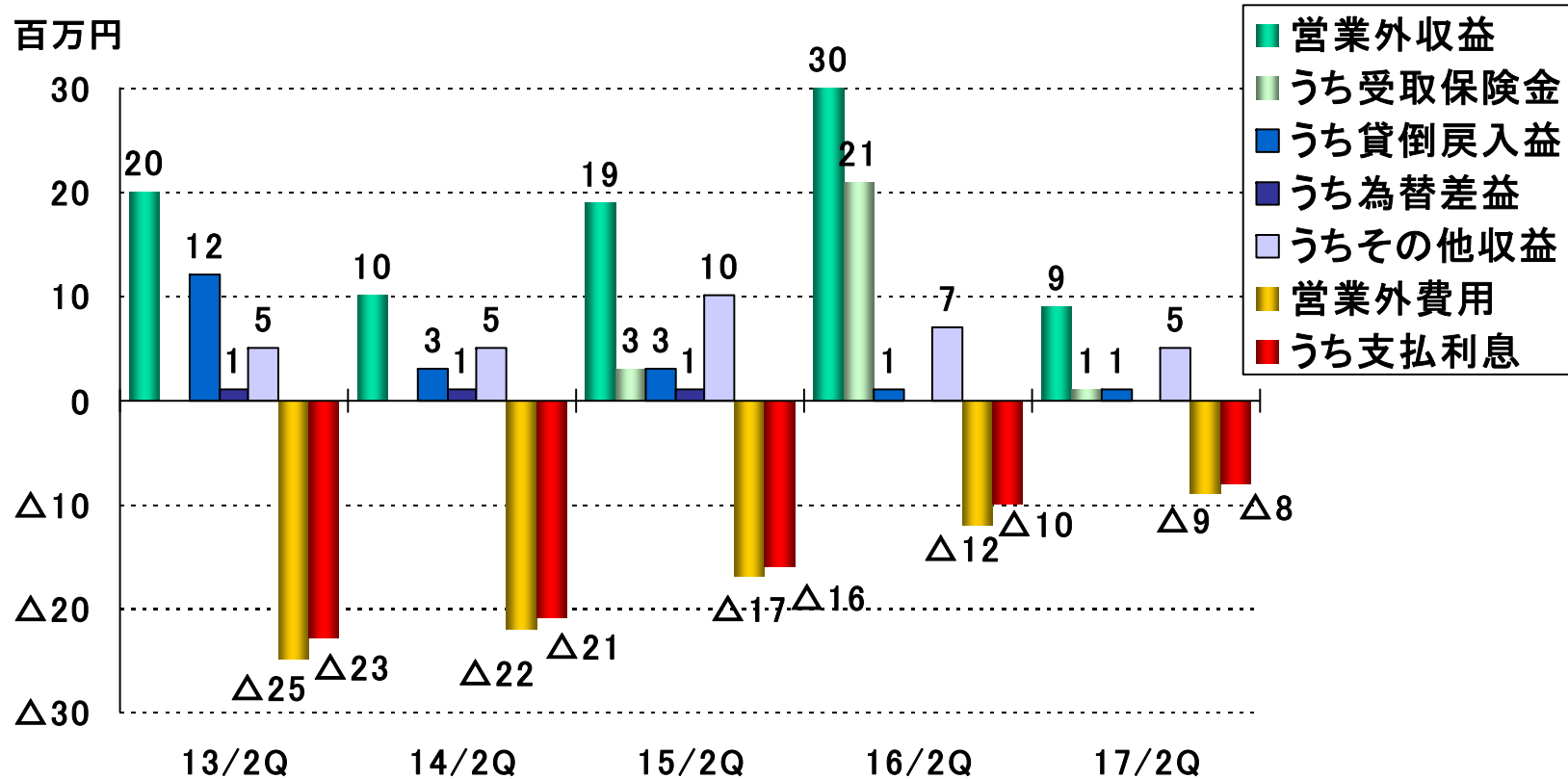
9

- 営業損失△84百万円、前年同期比△145百万円の損失増
- ホーリング機器関連は△107百万円のセグメント(営業)損失
～ 売上高が前年同期比420百万円減少し、原価高案件もありセグメント損失は前年同期比△264百万円増の△107百万円
- 工事施工関連は23百万円のセグメント(営業)利益
～ 売上高が前年同期比212百万円増加し、原価率も改善
固定費負担をカバーし、セグメント利益は119百万円増の23百万円



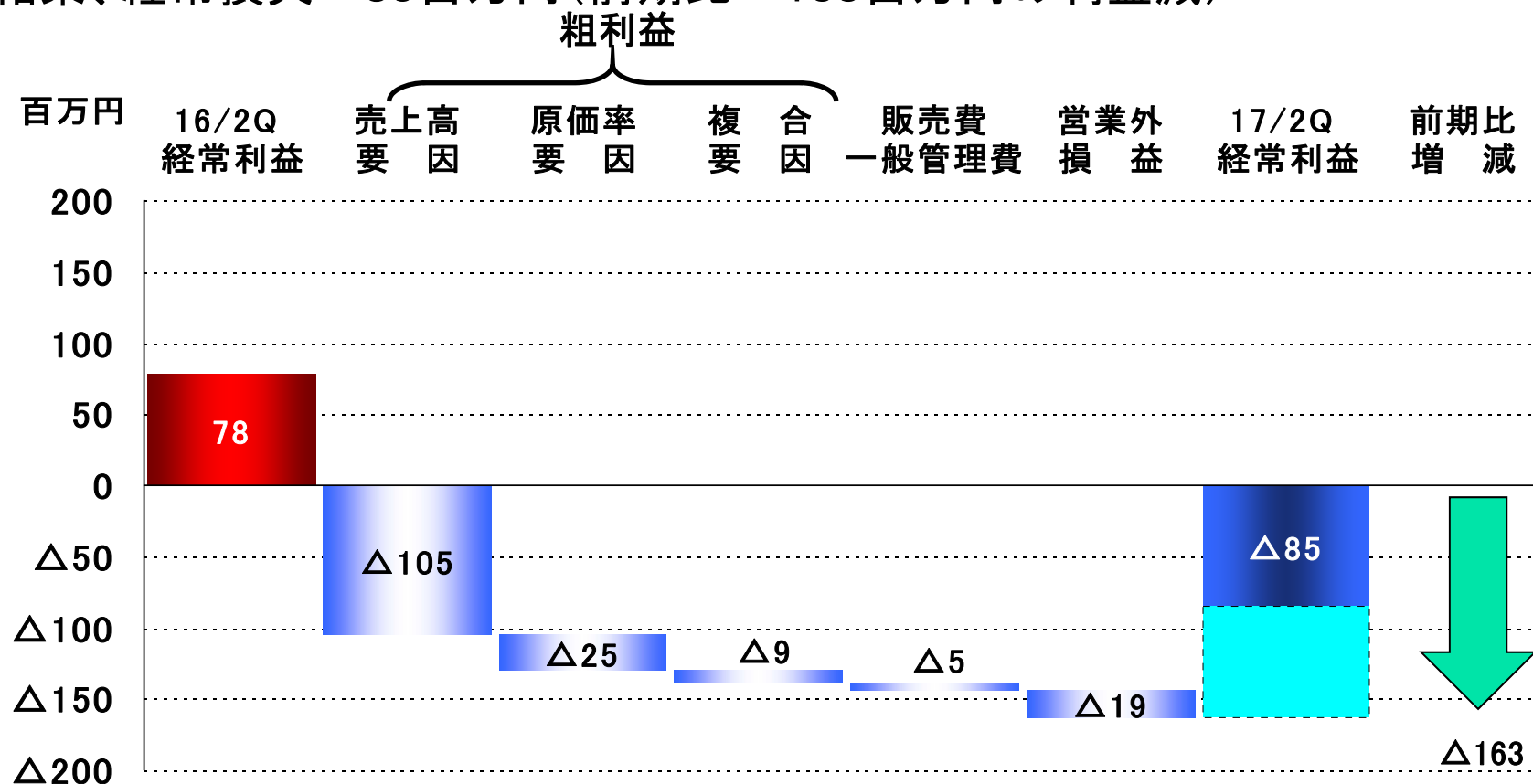
営業外損益

- 営業外収益・・・△20百万円減少
前年同期は受取保険金21百万円計上
- 営業外費用・・・△2百万円減少
うち支払利息△2百万円減

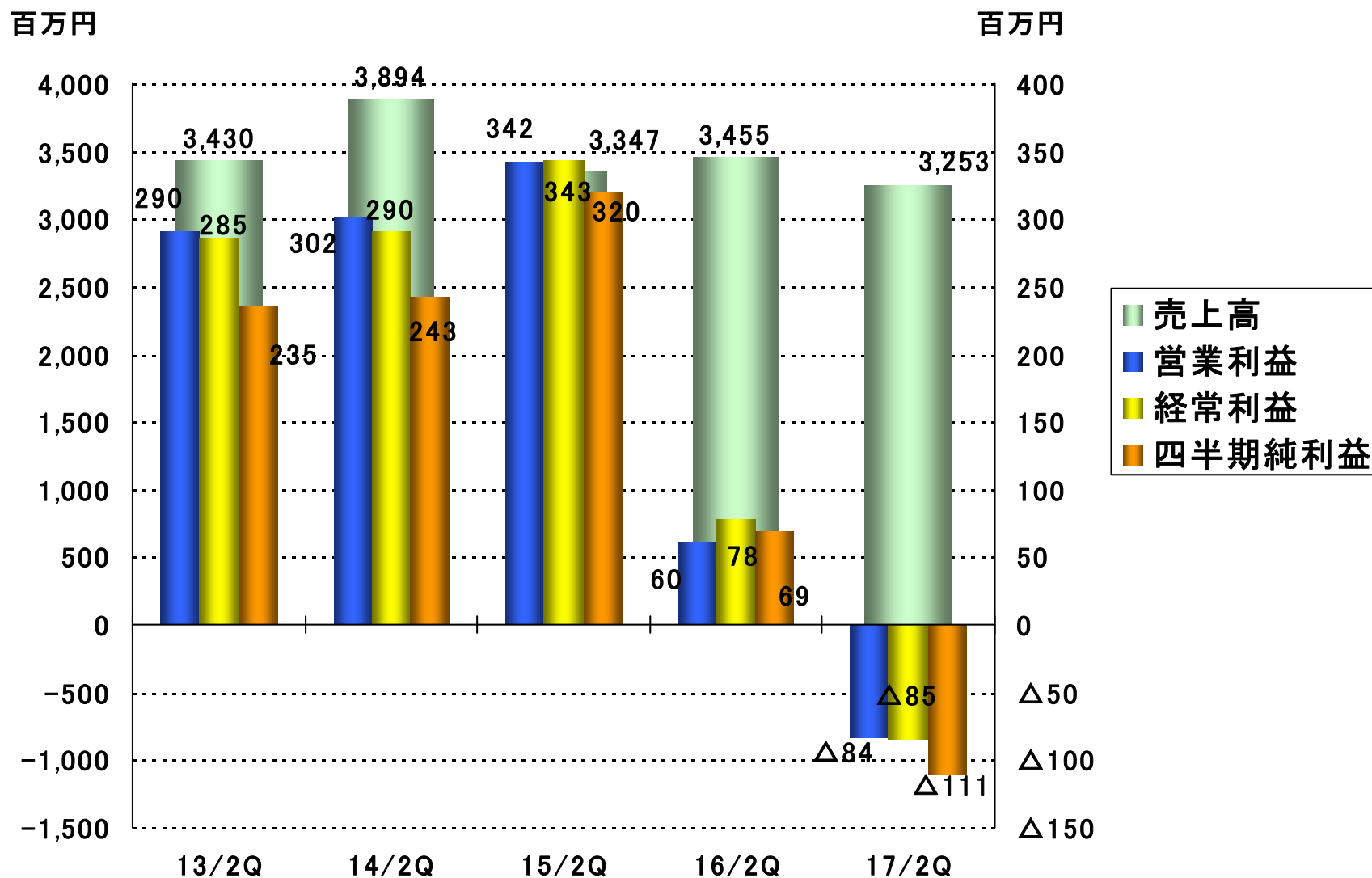


前年同期との経常利益差異要因

- 粗利益は前年同期比△139百万円減少
 - ～売上高減少(△201百万円)により△105百万円減益となり、原価率悪化(76.2⇒79.0%)で△25百万円、販管費微増により△5百万円減益、複合要因により△9百万円、営業外損益減少により△19百万円減益
- 結果、経常損失△85百万円(前期比△163百万円の利益減)



売上高・利益の推移



連結貸借対照表の概要(資産)

13

- 総資産は7,944百万円、469百万円増
 - ～ 売上債権は売上高減少及び回収により減少し、現金預金が増加
 - 棚卸資産はボーリング機器関連の特注機・受注案件に伴う仕掛品等が増加、
工事施工関連では仕掛工事の増加により未成工事支出金が増加
 - ～ 固定資産は若干の設備投資はあるものの減価償却ほかにより減少

(単位:百万円)

	17年3月末	17年9月末	増 減
現金及び預金	727	1,084	357
売上債権	2,132	1,891	△240
棚卸資産	2,570	2,941	370
その他流動資産	235	242	7
流動資産計	5,666	6,161	495
有形固定資産	1,523	1,495	△27
無形固定資産	29	25	△4
投資その他資産	256	261	5
固定資産計	1,809	1,783	△26
資産合計	7,475	7,944	469

連結貸借対照表の概要(負債・純資産)

14

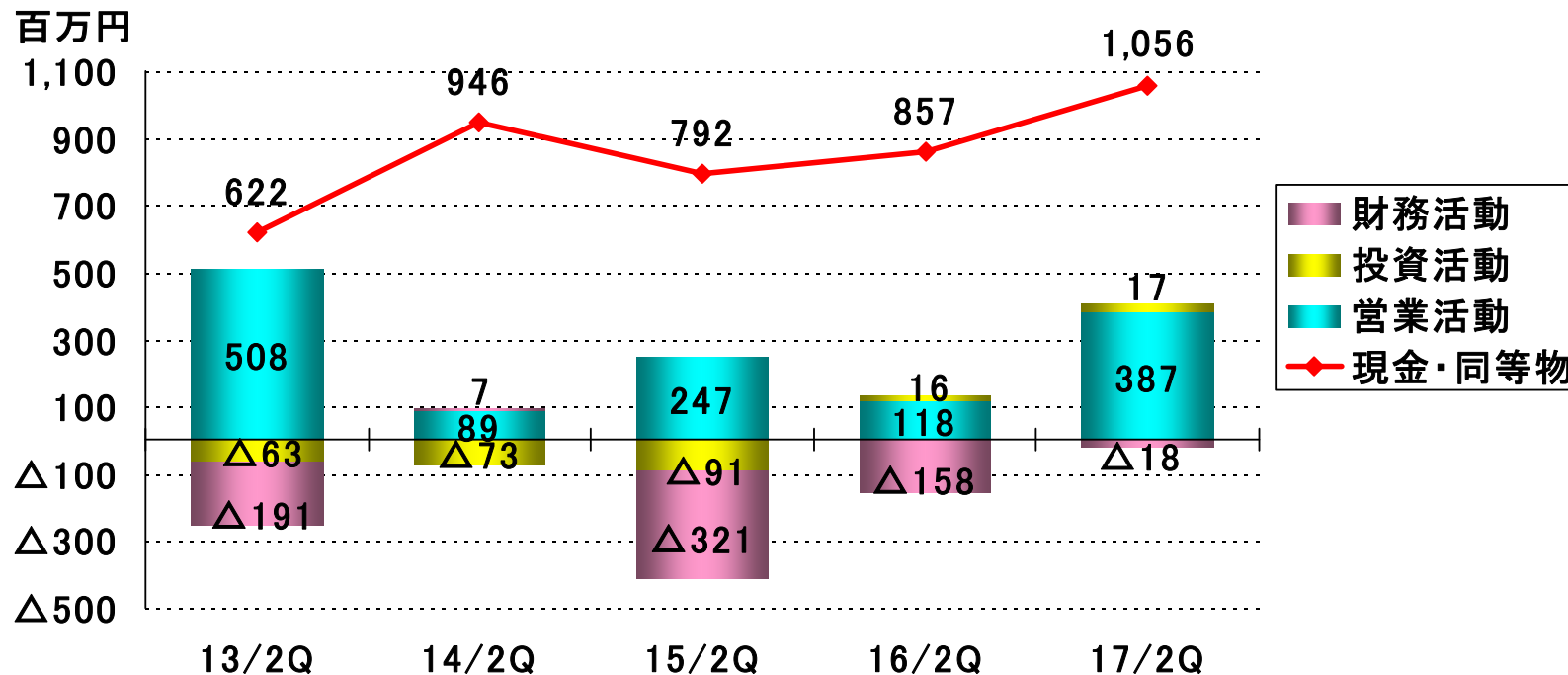
- 負債は主に買掛債務が増加、また、仕掛工事増により未成工事受入金が増加、借入金は調達により増加
- 純資産は△196百万円減少し3,373百万円に(自己資本比率42.4%)
～純損失△111百万円、配当金△89百万円、その他の包括利益3百万円
(単位:百万円)

	17年3月末	17年9月末	増減
買入債務	1,522	1,785	263
短期借入金	582	556	△26
長期借入金	484	581	97
その他	1,316	1,648	331
負債合計	3,905	4,571	665
資本金	1,165	1,165	—
資本剰余金	0	0	—
利益剰余金他	2,260	2,059	△200
その他包括利益他	144	148	4
純資産合計	3,569	3,373	△196
負債・純資産合計	7,475	7,944	469

キャッシュ・フロー(CF)

- 営業CFは、税金等調整前四半期純損失85百万円の計上、たな卸資産の増加370百万円等による支出に対し、売上債権の減少225百万円、仕入債務の増加263百万円、未成工事受入金の増加206百万円、未払費用の増加106百万円等により387百万円の収入
- 投資CFは、固定資産の新規取得14百万円の支出はあるも、定期預金等の純増減額29百万円等により17百万円の収入
- 財務CFは、410百万円の借入に対し、338百万円の返済と配当金89百万円の支払により△18百万円の支出

～ 現金・現金同等物の期末残高は、期首に比べ386百万円増加し1,056百万円に



2018年3月期通期連結業績予想修正

16

- 売上高は、ボーリング機器関連において一部大型案件が翌期へずれ込む恐れがあるため前回予想を下回る見通し
- 第2Q損益実績と前回予想からの売上高減少見込を踏まえ、営業利益、経常利益は前回予想よりそれぞれ320百万円減少し、税引後の当期純利益は200百万円を予想
- 前期実績の売上高6,795百万円、営業利益185百万円、経常利益197百万円からは、増収増益の見込
- 2017年10月13日に業績予想修正発表済

(単位:百万円)

	前回予想	今回修正	増 減	
売上高	8,800	7,850	△950	△10.8
営業利益	620	300	△320	△51.6
経常利益	620	300	△320	△51.6
当期純利益	455	200	△255	△56.0

注) 上記予想は、当社が本日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。